

2019年度(令和元年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

〈学校用〉

校番(66)番 福山市立 常金丸 小学校

1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する21世紀型“スキル&倫理観”	課題解決力	コミュニケーション力	挑戦する力	地域貢献力
めざす子ども像(21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた児童生徒の姿)	・解決すべき課題を見つけ、情報を比較・分類・関連づけながら、解決までの見通しを持って課題を解決しようとしている。 ・学んだ解決方法を駆使してよりよい方法で解決し、学習や生活の場役に立ようとしている。	・自分の考えを結論先行、理由付け、相手意識を持ってはっきりと説明し、他者の考えを聞いて、よりよい意見へと発展させている。 ・自分の考えを適切に伝えたり、他者の考えを的確に受けとめたりしながら、互いのよさを認め合っている。	・目標を決め、失敗を乗り越えながら挑戦している。 ・他者と協働して、物事をねばり強く最後までやりきろうとしている。	・地域のことを体験的に学習し、地域のよさや課題を伝えようと考えている。 ・地域の発展のためにできることを考えて実行している。

2 授業の現状

逆向き設計に基づいた授業改善に取り組んだことで児童の学習意欲・授業内容の理解度は高まっている。しかし、既習内容を新たな学習へとつなげ、自分の考えを筋道立てて書いたり発表したりすることを苦手とする児童は多い。また、話し合いの中で自分の考えと友達のことを比較・関連付けし、深めていくことに課題がある。

転換

3 めざす授業の姿

- ①自分で考え、判断する授業(主体的)
- ②学んだ知識をつなぎ、友達とかかわり合って解決していく授業(対話的)
- ③教科の「見方・考え方」を働かせ、児童に付けたい力が身に付く授業(深い)

4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
①自分の考えを書く活動を確保する。学年のレベルに応じた書く活動を設定して指導・評価する。 ②授業の中で対話の場を設定し、学期に2回コミュニケーション強化週間(手本とする話型を意識させる)を実施する。 ③付けたい力と手立てを明確にした教材研究ノートを週5回以上作成する。	①自分の考えをノート等で説明できる児童の割合は67.0%であった。 ②自分の考えを分かりやすく伝えることのできる児童の割合は41.5%であった。 ③付けたい力を明確にした授業ノートを週5回以上作成するについては、14週の内、対象者の平均は10.8週(77.1%)であった。	①自分の考えをよく表現できている児童のノートを紹介し、意欲をもたせるようにする。 ②コミュニケーション強化週間(10月、11月)を継続するとともに、対話活動の場では、子ども同士のつなぎ発言ができるように指導者はファシリテーターとしての役割を意識する。 ③本校の4つの「付けたい力」を意識した教材研究ノートを週5回以上作成する。	①自分の考えをノート等で説明できる児童の割合は62.4%であった。 ②自分の考えを分かりやすく伝えることのできる児童の割合は56.0%であった。 ③付けたい力を明確にした授業ノートを週5回以上作成するについては、16週の内、対象者の平均は11.2週(達成率70.0%)であった。	①自分の考えをよく表現できている児童のノートを学級で掲示し、意欲をもたせるようにする。 ②コミュニケーション強化週間(1月、2月)を継続するとともに、ファシリテーターとして意識しながら児童の対話の場をつくる。 ③本校の4つの「付けたい力」を意識した教材研究ノートを週5回以上作成する。各教員が新たに挑戦した授業づくりについての交流を行う。	①自分の考えをノート等で説明できる児童の割合は60.8%であった。 ②自分の考えを分かりやすく伝えることのできる児童の割合は65.8%であった。 ③付けたい力を明確にした授業ノートを週5回以上作成するについては、8週の内、対象者の平均は5.6週(達成率70.0%)であった。

5 取組の結果等

数値は2019年(R元年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%)

国語	70.0(+4.0)
算数	70.0(+2.0)

()は県平均との差

〈児童生徒質問紙調査〉(%) (肯定的評価)

自分にはよいところがある	90.9
先生はよいところを認めてくれる	100.0
将来の夢や目標を持っている	90.9
人の役に立つ人間になりたい	100.0

「基礎・基本」定着状況調査 〈児童生徒質問紙調査〉(%) (肯定的評価)

学校へ行くのは楽しい	95.8
「やりなさい」と言われなくても、自分から進んで勉強をしている	83.3
授業では、課題について、「なぜだろう」「やってみよう」と思う	87.5
授業では、友だちと話し合うなどし、考えを深めたり広げたりしている	70.8

暴力行為発生率・不登校児童出現率 (%) (2)月末現在

暴力行為	0	不登校	0
------	---	-----	---

体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) 17/48	○新体力テストの総合評価のAB率44.7%、DE率21.3%である。(AB-DE)23.4%	○握力・ソフトボール投げ以外、全体的に低下している。特に、男子は50m走と長座体前屈、女子は長座体前屈に課題が見られる。	○体育朝会で柔軟性を高める運動を複数紹介し、その中から各学級で選択し、毎朝の「20秒体づくり運動」で実施する。
(女子) 25/48	○20mシャトルランは、6/12反復横とびは5/12が県平均かつ全国平均を上回った。		

目標値

○新体力テストで県平均を上回る項目数を70%以上にする。

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)

質問項目	当てはまる	当てはまらない
仕事にやりがいを感じている	100.0	0.0
仕事に充実感がある	100.0	0.0

児童生徒アンケート(%)

(12)月実施

質問項目	当てはまる	当てはまらない
授業で考えることが面白い	84.5	15.5
自分の考えは、認められている	86.6	13.4